

2013年3月期 第1四半期 決算補足資料

1. 連結決算の状況
2. 主要製品の売上の状況
3. 開発品パイプラインの状況

【参考資料】

4. 2013年3月期第1四半期 セグメント情報
5. 2013年3月期第1四半期 業績と予想

2012年7月31日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2013年3月期 第1四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	10年3月期 第1四半期	11年3月期 第1四半期	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	前年比
売上高	23,289	24,655	24,809	25,422	2.5%
営業利益	3,156	2,216	4,100	4,080	-0.5%
経常利益	3,417	2,421	4,300	4,351	1.2%
当期純利益	1,976	1,799	2,697	2,838	5.2%

13年3月期 第2四半期 予想	前年比	13年3月期 通期予想	前年比
47,700	2.8%	104,700	1.4%
5,600	14.3%	17,900	23.8%
6,000	14.2%	18,500	21.1%
3,900	16.2%	11,800	27.8%

13年3月期 第1四半期 連結業績(実績)

【売上高】

本年4月に実施された薬価改定の影響はあったものの、医薬品事業における売上は新薬事業、後発品事業ともに前年度を上回る実績となりました。その結果、連結売上高は254億22百万円(前年比2.5%増)と増収になりました。

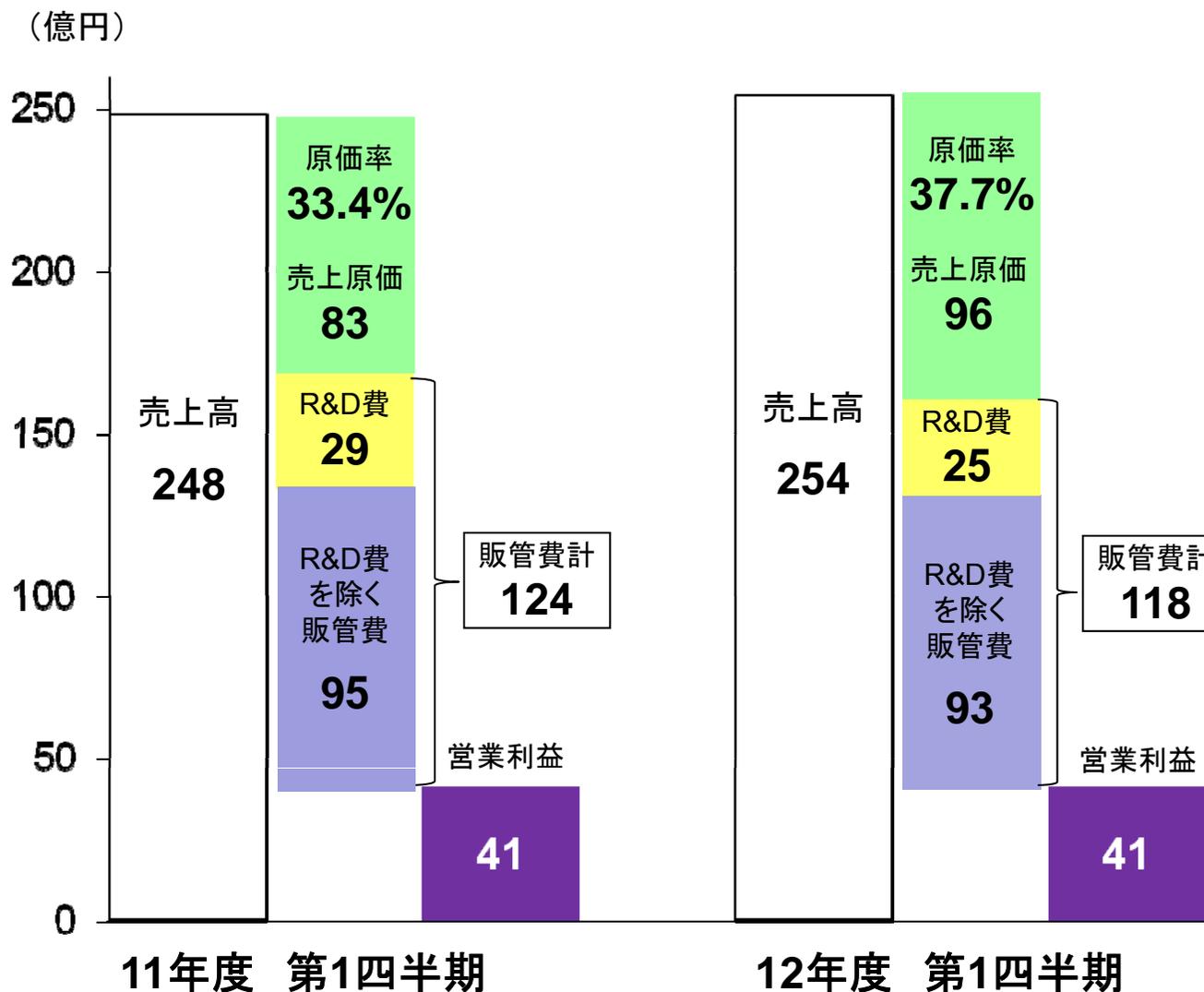
【利益】

売上原価率の上昇(薬価改定の影響等)により売上総利益が減少しました。一方、研究開発費等の減少により販売費及び一般管理費は減少しました。その結果、営業利益はほぼ横ばいの40億80百万円(前年比0.5%減)、当四半期純利益は28億38百万円(前年比5.2%増)となりました。

13年3月期 連結業績(予想)

2012年5月9日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現段階では変更いたしません。
(第2四半期予想に対する進捗度 売上高:53.3% 営業利益:72.9%)

2013年3月期 第1四半期 業績のポイント



ポイント①

◇売上高は6億円増加

ポイント②

◇原価率は4.3%上昇

- ・薬価改定(杏林製薬:6%台)の影響
- ・海外自社製品の売上減少(一時的要因)
- ・工場稼働率の低下
(前年は電力不足を考慮し前倒し生産を実施)
- ・後発品の売上増加

◇売上総利益は7億円減少

ポイント③

◇販管費は6億円減少

- ・R&D費は4億円減少

◆営業利益は、ほぼ横ばい

2013年3月期 第1四半期 業績の状況

(単位: 億円)

	12年3月期 第1四半期 (実績)	13年3月期 第1四半期 (実績)	対前年
売上高(合計)	248	254	+6
医薬品事業	242	249	+7
◆新医薬品	211	213	+2
○国内	201	206	+5
○海外	11	7	-4
◆後発医薬品	21	26	+5
◆一般用医薬品他	10	10	0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	6	5	-1
営業利益	41	41	0
経常利益	43	44	+1
当四半期純利益	27	28	+1

■売上高	254億円	対前年	(+6)
◆医薬品事業	249億円		(+7)
●国内新医薬品	206億円		(+5)
	12.3(1Q)	13.3(1Q)	
・キプレス	83	⇒ 88	(+5)
・ウリトス	16	⇒ 19	(+3)
・ムコダイン	51	⇒ 46	(-5)
・ペンタサ	46	⇒ 45	(-1)
●海外新医薬品	7億円		(-4)
・ガチフロキサシン	10	⇒ 7	(-3)
●後発医薬品	26億円		(+5)
使用促進策等により売上増加			
◆ヘルスケア事業	5億円		(-1)
●ドクタープログラムの売上減少			(-1)
■営業利益	41億円		(0)
◆営業利益率は16.0%と前年比0.5ポイント低下			
●原価率:37.7% 前年比4.3ポイント上昇 (33.4%⇒37.7%)			
薬価改定の影響、海外自社製品の売上減少、工場稼働率の低下、 後発品の売上増加			
●研究開発費率:9.7% 前年比2.1ポイント低下 (11.8%⇒9.7%)			
* 29億円 ⇒ 25億円(4億円減少)			
●販管費率(除R&D費):36.5% 前年比1.8ポイント低下 (38.3%⇒36.5%)			
* 95億円⇒93億円(2億円減少) 主に販促費用の減少			
■当四半期純利益	28億円		(+1)

2013年3月期 第1四半期 主要製品売上の状況



(単位:億円)

製品名		第2四半期		通期		第1四半期(4月～6月)				
		12年3月期 実績	13年3月期 予想	12年3月期 実績	13年3月期 予想	12年3月期 実績	13年3月期 実績	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤 気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	157	167	368	379	83	88	5.8%	52.4%	23.1%
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	91	90	215	213	51	46	-8.5%	51.1%	21.7%
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	91	84	180	170	46	45	-0.5%	53.9%	26.6%
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	29	33	63	76	16	19	21.6%	56.2%	25.0%
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	18	15	34	30	9	8	-12.5%	50.0%	25.3%
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	8	8	17	15	10	7	-33.0%	81.3%	42.0%
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	9	10	19	20	5	5	10.3%	48.9%	24.1%

ガチフロキサシンはライセンシー向けのバルク売上とともに、ライセンシーの販売に応じたランニングロイヤルティを含んだ売上を計上いたしております

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	12年3月期 第1四半期 実績	13年3月期 第1四半期 実績	12年3月期 通期 実績	13年3月期 通期 (予想)
売上高	225	230	937	946
営業利益	39	41	140	174
当期純利益	27	29	93	120

キョーリンリメディオ	12年3月期 第1四半期 実績	13年3月期 第1四半期 実績	12年3月期 通期 実績	13年3月期 通期 (予想)
売上高	24	27	96	102
営業利益	3	0	3	4
当期純利益	2	0	3	2

ドクタープログラム	12年3月期 第1四半期 実績	13年3月期 第1四半期 実績	12年3月期 通期 実績	13年3月期 通期 (予想)
売上高	6	5	26	27
営業利益	0	-1	1	1
当期純利益	0	-1	0	0

開発品一覧①(2012年7月31日現在)

PhⅢ ~ 申請中

※: 前回(2012年3月期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (11年11月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
申請準備中		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	・新剤型の開発 ・PhⅢ終了(12年2月)
申請準備中	(アメリカ) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 承認(12年7月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	イギリス スカイファーマ 社	ステロイド(ICS:フルチカゾン)及び長時間作動型β 作動薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性 やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセン ス契約(08年4月) ・国内PhⅢ終了(12年3月)

開発品一覧②(2012年7月31日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~ Ph II)

※: 前回(2012年3月期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPP4阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b終了(11年3月) ・国内Ph II b終了(10年3月)
Ph II (12年2月)	(欧州) アルミラール社 :承認(12年7月) (アメリカ) フォレスト社 :承認(12年7月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
Ph II ※ (12年5月)	(欧州) アルミラール社: Ph III (アメリカ) フォレスト社: Ph III	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用型β作動薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約(09年11月)
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) (ノバルティス)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリアー、高い安全性を期待	
Ph I ※ (12年7月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

その他の事項

・緑内障治療剤「アイファガン点眼液0.1%」: 2012年5月に千寿製薬より発売 ※

【参考資料】

2013年3月期 第1四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	254	+6	41	0
医薬品事業計	249	+7	41	0
◆新医薬品	213	+2		
○国内	206	+5		
○海外	7	-4		
◆後発医薬品	26	+5		
◆一般用医薬品他	10	0		
ヘルスケア事業計	5	-1	-1	0
調整額	-	-	1	0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

【参考資料】

2013年3月期 第1四半期 業績と予想(連結)



(単位:百万円)

	第2四半期		通期		第1四半期(4月~6月)					
	12年3月期 実績	13年3月期 予想	12年3月期 実績	13年3月期 予想	12年3月期 実績	13年3月期 実績	前年差額	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
売上高	46,387	47,700	103,232	104,700	24,809	25,422	613	2.5%	53.3%	24.3%
医薬品事業	45,155	46,500	100,654	102,000	24,183	24,921	738	3.1%	53.6%	24.4%
◆新医薬品	39,098	40,000	88,011	88,700	21,148	21,331	183	0.9%	53.3%	24.0%
○国内	38,129	39,000	85,995	86,700	20,075	20,586	511	2.5%	52.8%	23.7%
○海外	968	1,000	2,015	2,000	1,072	745	-327	-30.5%	74.5%	37.3%
◆後発医薬品	4,097	4,600	8,656	9,500	2,069	2,635	566	27.4%	57.3%	27.7%
◆一般用医薬品他	1,959	1,800	3,987	3,800	965	953	-12	-1.2%	52.9%	25.1%
ヘルスケア事業	1,232	1,200	2,577	2,700	625	501	-124	-19.8%	41.8%	18.6%
営業利益	4,900	5,600	14,464	17,900	4,100	4,080	-20	-0.5%	72.9%	22.8%
経常利益	5,253	6,000	15,275	18,500	4,300	4,351	51	1.2%	72.5%	23.5%
当期純利益	3,355	3,900	9,231	11,800	2,697	2,838	141	5.2%	72.8%	24.1%